

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策における、地域参加においては、災害対策について、近隣住民への意見や情報を聞き取り、協力体制を構築する方法を具体化していく。	近隣住民との情報交換を増やしていく事で、自施設の事を更に深く知って頂き、災害における協力体制の構築に努めていく。	毎月、防災目標を立て、年2回の避難訓練とは別に、職員会議(月1回)時に、自主訓練を継続して行っていく。地域参加においては、近隣住民へ、行事の案内やちらし配りをする際に、ポスティングではなく、実際に向き合い、自施設の事を良く知って頂いた上で、災害対策についての意見や情報交換を行っていき地域との協力体制の在り方を具体化していく。	3 ヶ月
2	4	運営推進会議の中で頂いた意見を、会議の場で振り返り、次回の会議の場で、前回の意見の進歩状況の報告を行っていく。	運営推進会議の中で出た意見を次回の会議へ反映させる事ができる。	運営推進会議では、花火大会・餅つき大会・市の出前講座等の勉強会を継続して行い、今後も、家族・地域・行政との交流の機会を作っていく。又、運営推進会議の中で頂いた意見は、議事録の文章に残し、いつでも閲覧できるようにすると共に、家族へ郵送し会議の内容を共有していく。	3 ヶ月
3	28	アセスメント用紙の中に、入居者の要望等を追記していき、アセスメント用紙を全職員で活用・共有し、日々のケア内容の記録に繋げていく。	介護支援専門員を中心にアセスメント用紙の活用・介護記録の改良を行い、日々の記録とケアを連動させる事ができる。	介護支援専門員を中心に、アセスメント用紙の改良を行っている。今後も、介護支援専門員を中心に、アセスメント用紙の見直しを行い、改良を継続していき、入居者個々の要望を記録していく。また、改良されたアセスメント用紙や介護記録を基に、全職員で共有していき、日々のケアに繋げていきたい。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月